

令和3年度 自己評価公表シート

1. 幼稚園の教育目標

- (1) 身体も心も健康で明るい子供 (体) つよい子
- (2) 豊かな心と感性をもった子供 (徳) すなおでやさしい子
- (3) 自分で考えて行動できる子供 (知) かんがえる子

2. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 明るく温かで健康的な教育環境を整え、温かな眼差しによる保育者の見守りによって子供たちが安心して、自信をもって自己を発揮していけるようにする。
 - ① 四季折々の窓面を工夫し、幼稚園の楽しさを伝える。
 - ② おもちゃを使いやすく配置し、園児が楽しく仲良く遊べるようにする。
 - ③ 朝夕の清掃と消毒を徹底し、清潔で健康的な環境を整える。
- (2) 広い園庭を活かし、のびのびと遊びながら四季折々の草花や木の実や葉、昆虫などに触れ、豊かな心と感性が育まれるようにする。
 - ① 園庭の遊具には「お休みカード」を活用し、保育者と園児の会話の中で規則を知り、安全に楽しく遊べるようにする。
 - ② 園庭の草花から色水をつくったり、種を取ったり、昆虫を見つけたりして、自然に触れあって遊べるようにする。
 - ③ 毎日のお弁当によって喜びと感謝の気持ちを育てると同時に、畑で作物を育て、収穫の喜びと食物への感謝の気持ちを育てる。
- (3) 小学校就学を見通したカリキュラムにより、季節や行事に合わせて工夫した制作を通して、自分で考えて作ったり、友達と協力して作ったりすることが出来るようにする。
 - ① 担任教諭と共に、季節や行事に合わせた歌を歌い、制作をし情操を豊かにしていく。
 - ② 専門の講師による体育あそびによって、楽しく遊びながら個別・学齢に応じた体づくりを図る。
 - ③ ネイティブの専門講師による英語あそびでは、楽しみながら異文化・異言語に触れる。
- (4) 年間カリキュラムにある季節に応じた諸行事を実施するにあたり、新しい生活様式を工夫し、学年別で実施するなど保護者の理解・協力も得て、園児の命を守り安全に実施できるようにする。
 - ① 園外保育では、感染予防を徹底し、安全に実施できる行事を精選する。
 - ② 運動会では、力いっぱい走ったり、おゆうぎをしたりすることで、体づくりと協調性・頑張る力を伸ばす。

- ③ おゆうぎ会、ひなまつり会、七夕、豆まき会、誕生日会などの行事では、意味・意義を教えると同時に発達段階に応じた表現力を高め情操教育につなげる。
- (5) 家庭・地域と連携した、幼児教育の支援を推進する。
- ①保護者の子育て支援のための預かり保育では、家庭的なくつろいだ雰囲気の中で、安全に子供たちを見守り過ごす。
- ②近隣小学校と連携し、小学校就学を見通した保護者支援を実施する。保幼小連絡協議会への参加も積極的に実施する。
- ③すこやか、療育担当と連携し、保護者承諾のもと、一人一人の園児にあった保育を家庭と協力して進める。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み
- ①毎朝の検温を軸とした、保護者と共同した健康観察のもと、傷病状況にいち早く察知し、各家庭かかりつけ医療機関・保健所と連携する。
- ②幼稚園での感染対策について、定期的に保護者に周知し、保護者と幼稚園が常に連携して感染防止を図る。
- ③全教職員で、保育室・玩具・遊具を清潔に保つため、清掃・消毒を徹底し、さらにチェックシートによって管理をする。
- (7) 教職員の専門性の向上を図る。
- ①中野区幼稚園連合会主催の研修会に参加し、その研修内容を全教職員に還元する。
- ②カリキュラム会議を毎週実施し、保育の内容などを相互に連絡し合い、幼稚園教諭としてのスキルアップにつなげる。
- ③ 長期休業を活用して、各自研修を行い、その内容を長期休業後に発表し、互いの研修内容を知る機会とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1)	①	A 四季の窓面を子ども自身にも制作をして、保護者にも見ていただき、ご家庭との楽しい話題にもつながっている。
	②	A 毎朝、各保育室の環境配置を子ども一人一人の好みを知る担任が行っている。
	③	A 各保育室を実際に使う保育者が責任を持って消毒清掃を行っている。
(2)	①	A 各クラスで園庭の探検ごっこからお約束を知り、安全に遊べるようになっている。

	②	A	お天気の良い日は必ず園庭遊びを取り入れ、子ども達の様子を見ながら、自然遊びを取り入れ、感性を育てている。
	③	A	毎日のお弁当の時間を楽しみにしている姿がある。お弁当を作ってくれるおうちの人への感謝のカードを製作し渡し喜ばれている。畑などでの野菜を楽しく収穫をし喜んで味わっている。
(3)	①	A	四季折々のお歌も大切にし、園全体で月の歌も決め楽しんでいる。廃材なども利用し制作に挑戦し、一人一人の創意工夫を発揮できるようにしている。
	②	A	専門の体育講師に元気いっぱい指導を受け、健康な体作りをしている。
	③	A	専門のネイティブ外国人講師に英語で遊び、多言語に親しみ異文化や外国の人に慣れ親しんでいる。
(4)	①	B	感染症予防の観点で、お弁当を皆で園外で楽しむことは難しいが、紙パックのジュースなどに統一したり、工夫して、楽しい思い出になるようにしている。
	②	A	運動会も、感染症対策で、学年別に行い、ご家族も定員を決め、健康管理を徹底している。その中でも、クラスで、また個々が達成感を得られる内容にしている。
	③	A	表現活動のお遊戯会、音楽発表になるお雛祭り会、古来からの行事の七夕、豆まきも感染症対策を取りながら、学年に応じて皆で楽しい会にしている。
(5)	①	A	保護者の子育て支援として、家庭的な雰囲気、放課後の預かり保育が信頼を得て喜ばれている。
	②	A	区内の保幼小連絡協議会に参加し、また就学時には、小学校と連絡を緊密に取り、保護者と子どもへの安心に繋げている。
	③	A	専任の担当教諭を配置し、配慮を欠かさず見守り、援助をしている。ご家庭の様子を聞き取り、また定期的に区の専門家の巡回による意見、指導を受け、管理職、担任、担当者でその意見、指導を参考に保育内容を個別に工夫し考え実践している言葉かけの工夫、視覚からのアプローチ方法など)。また、ご家庭との連携も欠かさず子どもの成長に繋げていっている。
(6)	①	A	日々の保育日の健康チェックは欠かさず、保育者の視診もさらに力を入れている。園医とも、連絡相談を日頃より行っている。
	②	A	感染予防の周知文書の配布と、必要に応じて即座に掲示板、一斉メール配信を用い、正確な周知を行っている。
	③	A	チェックシートを作り、使用した保育者が使用後に清掃消毒を徹底し済ませている。
(7)	①	A	感染症対策のため、代表の保育者が研修を受け、報告会で、全教職員に還元できるように発表してもらっている。
	②	A	毎週のカリキュラム会議に、全教員が参加し、共通理解を図り、スキルアップに繋がっている。
	③	B	夏休み期間に、各自園内研修、各自の自主研修を行っている。

4. 令和3年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	幼稚園での楽しい思い出が将来の人格形成や人間性に結びついていく。そのために日々の幼稚園からの温かい保護者への励ましの言葉かけや、子ども達が家庭ではできない遊びなどを体験してもらうことで親子で良き思い出となっていく。また、集団生活での大切なルールやマナーなど約束事も一人一人の子ども達の体験を通して知り身に着けていくことが重要である。時代が移り多様性が重んじられ、環境も変わっていく中であるが、それらの大切な事柄を限られた時間の中で努力していることを評価する。

5. 令和4年度に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
感染症対策の中での保育内容	行事の内容をさらに見直し、安全で効果的で、子ども達も満足のいくものにしていく。
園内研修のあり方	夏休み期間を利用した園内研修のあり方をさらに検討課題とする。

6. 令和3年度学校関係者評価報告書

安全な環境づくりとともに、子どもの成長に繋がっていくように人的配置を管理職が日々決めてより良い環境づくりをしている。また、日々の状況に応じた最適な配置を考えて実行している。毎週のカリキュラムの教員同士の話し合いの中で共通理解とより良い保育になるべく努力を続けている。集団の中の子ども達の成長に繋げるため、保育への探求を一年間を通して教員同士の自己研究も示し高め合っている。クラスの中でサポートが必要な時には、専任の担当教諭が援助し丁寧に対応している。集団での保育活動をより良くしていくため、教師が日々連絡をし合い、より良いクラスづくりに努力している。